



はじめてのロイロノート 研修会

【担当者マニュアル】

この研修会では、はじめてロイロノート・スクールをご利用になる方を対象にロイロノート・スクールの基本操作について説明します。本紙では研修の流れと内容をご紹介します。

研修を実施される前に以下の資料をご確認ください。

〈実際の研修動画〉 [はじめてのロイロノート.mp4](#)

〈基本操作詳細説明〉 [ロイロノートスクールの始め方](#)

※ 本紙は「はじめてのロイロノート研修会」を校内研修として実施されることを想定しています。

※ 本紙では研修を担当される教員を「研修担当」、研修に参加される教員を「参加者」と表記します。

※ 研修の目的により、参加者が教員アカウント/生徒アカウントのどちらを使うのか決めてください。

参加者が教員アカウントを使う場合でも参加者に生徒画面での見え方を示すため、提示用の生徒アカウントをご用意ください。



目次

研修会の流れ

- ログイン
- 資料のやりとり
- カードの作成・編集
- テストカード
- ペアワーク

サポート/オンラインセミナー

- 使い方に困ったら
- 初心者向けセミナー
「はじめてのロイロノート」LoiLo主催
- 授業での活用法
- 実践事例

研修会の流れ

※ 研修担当者のみが行う項目については（研修担当）と記載します。

1. ログイン

研修用アカウントの配付（研修担当）

事前準備で作成した研修用のアカウント情報を参加者に配付します。

ロイロノート・スクール アプリまたはブラウザ版の起動

- ・ iPadをご利用の場合は、アプリを起動します。
- ・ Windows、ChromebookなどiOS以外の場合にはGoogle Chromeまたは、Edgeから以下のURLにアクセスします。

ブラウザ版URL：<https://loilonote.app>

ログイン

配布したアカウント情報（学校ID、ユーザーID、パスワード）を入力して、「ログイン」ボタンをおします。

※ 本紙では研修担当が教員アカウント、参加者が生徒アカウントでログインした場合を想定しています。



授業選択・ノート作成

研修で使う授業を選択します。

授業に入れたら「ノートを新規作成」からノートの名前を入力し、OKをおします。



接続状況の確認（研修担当）

研修担当者は、画面右側にあるタブを引き出し、「操作ロック」をおします。

生徒アカウントでログイン中の参加者全員の画面に「操作ロック中」が表示されることを確認してください。



操作ロックをおしても参加者画面が変わらない場合は、以下を確認してください。

- 生徒アカウントでログインしているか
- 研修用の授業に入っているか

参加者の確認（研修担当）

授業開始時、画面右端にあるタブを引き出し、管理者ツールから参加者確認ができます。

白色：授業に参加しています
黄色：授業選択中
赤色：参加していません/
他の授業に参加しています



2. 資料のやりとり

資料を参加者の画面に表示する（研修担当）

「画面配信」は生徒と共有したい情報を生徒の端末に直接投影する機能です。教員が用意したカードやPDF資料を生徒の画面に配信し、書き込みながら説明できます。

1. 講師画面でカードやPDFを開いた状態で右上の「画面配信」を選択する
2. 画面上のペンのボタンをタップして書き込む

参加者の画面が研修担当と同じになっていることを確認してもらってください。



課題を送る（研修担当）

講師から参加者に課題が書かれたカードを送ります。

1. 「朝ごはんは何を食べましたか」「趣味はなんですか」など、簡単な質問をテキストカードで作成する
2. 送りたいカードを「送る」ボタンに重ねて指を離す
3. 送り先で「全員」を選択し、「送る」をおす

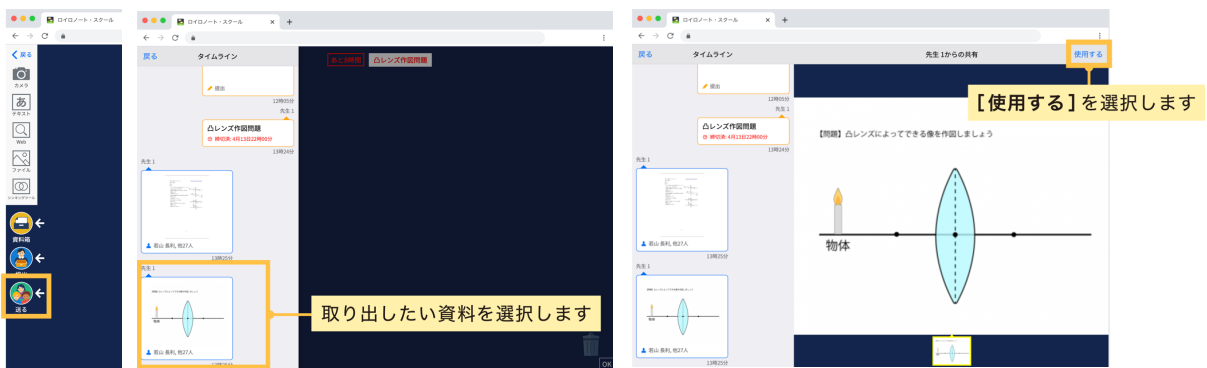
送信できたら「送りました」と表示されます。



課題を受け取る

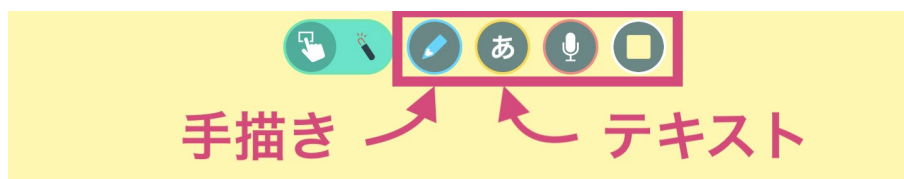
送られてきた課題カードは「送る」ボタンから飛び出してきました。

※ カードが出てこない場合は、「送る」をおしてタイムラインから取り出します。



回答作成

1. 送られてきたカードを選択し、画面上部にある編集ボタンで回答を作成する。
手書き、テキストを編集して回答を作成する。
2. 完成したら画面左上の「←」をおして、ノート画面に戻る。



提出箱の作成（研修担当）

参加者が解答を提出する提出箱を作成します。

事前に作成することも可能ですが、提出箱の作成手順を参加者に説明するために研修会中に作成することをおすすめします。



回答提出

作った回答を全員で共有します。

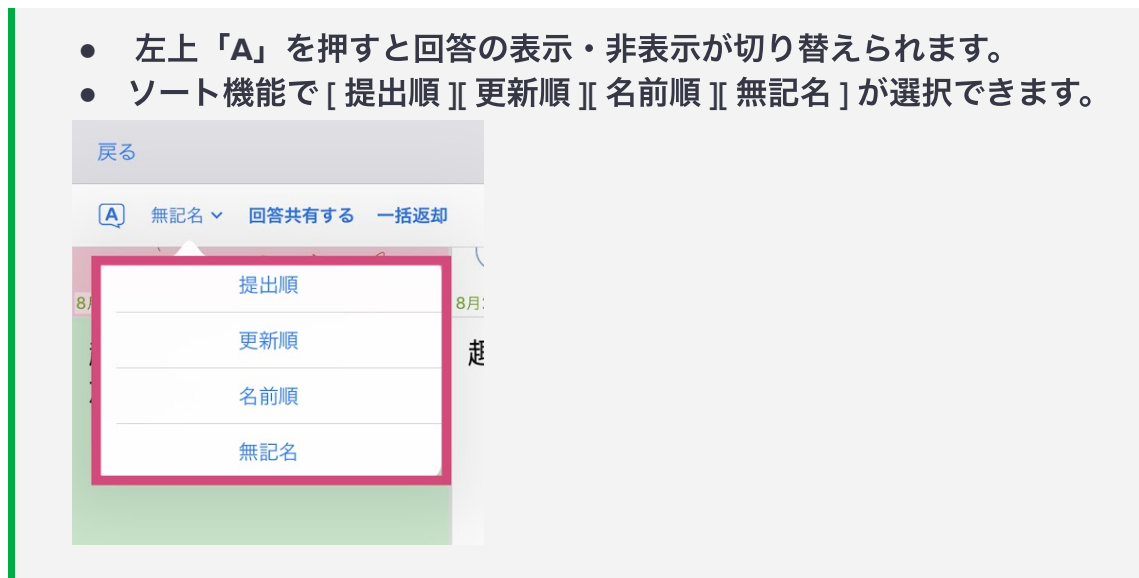
1. 作ったカードを「提出」ボタンに重ねて指を離す
2. 提出する提出箱の名前を選択する
3. 提出できたら画面に「〇〇に提出しました」と表示される



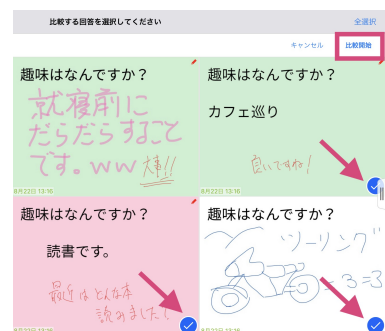
提出物の確認

生徒が提出した課題を確認する作業を提示します。

1. 「提出」アイコンをおして、開きたい提出箱を選択する
2. 研修担当が「回答共有」をおすと、生徒も全員の回答が閲覧できるようになる
(研修担当)
3. 以下のような表示を切り替えて、生徒画面からどのように見えるのか確認する
(研修担当)



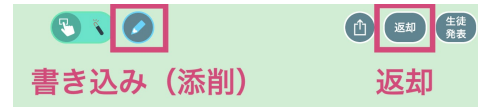
4. 右上の「比較」ボタンをおして、
比較したい回答を選択し「比較開始」をおす。
選択した回答だけを表示することができる。



提出物を添削・返却（研修担当）

授業で生徒の提出物を添削し、返却する方法を提示します。

1. 添削する回答を選択し鉛筆ボタンで書き込む
2. 右上の「返却」ボタンで添削した回答を生徒に返却する
3. 複数名採点した後で、回答一覧画面の「一括返却」ボタンから、添削済みの回答をまとめて返却することも可能



ノートを写真に撮って提出

以下の実践動画でノートを写真にとって提出する使い方を紹介します。

実践動画 1：

1人1台タブレット最も簡単に良さを感じるには？写真をとって提出、回答共有！

<https://youtu.be/toCr38kexb4?t=10>

参加者に体験してもらいます。

1. 「カメラ」ボタンでカメラを起動させ、近くの物を撮影する
2. 画面右下の「写真を使用」を選択し、撮影した写真をカードにする
3. 写真に手書きで書き込みをします。ピンチ/ズームで細かな書き込みも可能

カードの交換

授業中、グループワークなどで生徒同士でデータのやりとりをする場面を体験します。

1. 管理者ツールから「生徒間通信」をON（紺色のアイコン）にする
2. 送りたいカードを「送る」ボタンに重ねて指を離す
3. 「個人」からカードを送る相手を選び、「送る（●人）へ」をおす
4. 送信できたら「送りました」と表示される



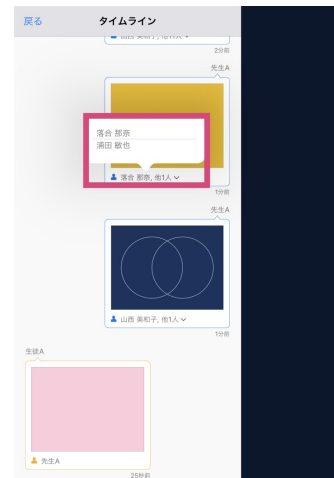
通常は生徒間通信がロックされている状態です。生徒同士がカードを交換するには教員が生徒間通信をできるように変更する必要があることを伝えましょう。

交換したデータの確認

生徒同士でやりとりしたデータの履歴が見られることを確認します。

1. 「送る」ボタンをおす
2. タイムラインが表示される
タイムラインでは以下の情報を確認できます

- 自分に送られてきたデータ
- 自分が送ったデータ
- データの送り主
- 送信日時



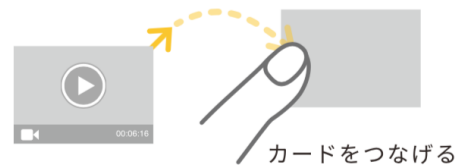
3. カードの作成・編集

カードを整理する

作ったカードは整理して、まとめて送ったりプレゼンテーションで発表したりすることができます。カードの整理方法を紹介します。

a. カードをつなげる

右上にある黄色い矢印をつなげたいカードへひばっていくと、カードが線でつながります。カードをタップすると全画面に表示されます。つながったカードを左右にスワイプすると、次のカードが表示されます。



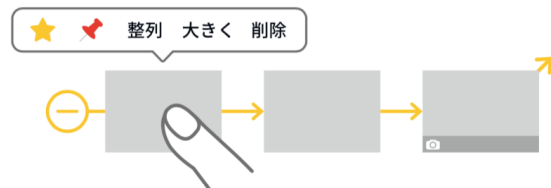
b. カードをまとめる

カードの先頭にある「-」ボタンをおすと、カードをまとめる（グループ化する）ことができます。カードを展開するときは「+」ボタンをおします。



c. カードを整理する

先頭のカードを長押しすると、「整理」ボタンが表示され、つながったカードが等間隔に整理されます。



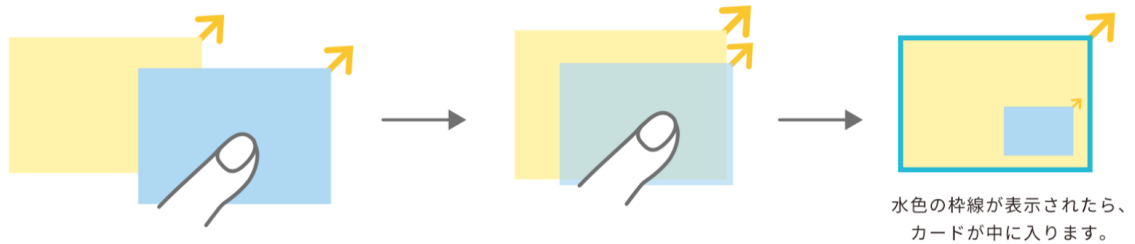
参加者にカードをつなぐ、スワイプする、並び替えの操作をするよう促しましょう。簡単にプレゼンテーションができることについて伝えましょう。

カードの中にカードを入れる

a. カードを入れる/出す

入れたいカードをカードの上に重ねると、カードの中にカードが入ります。

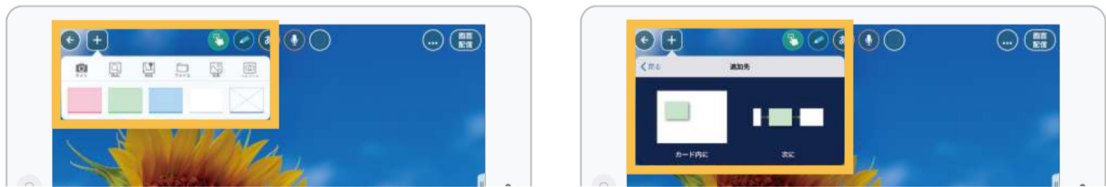
カードを出す場合は、出したいカードをもってカードの外側にもっていきます。



b. カードを追加する

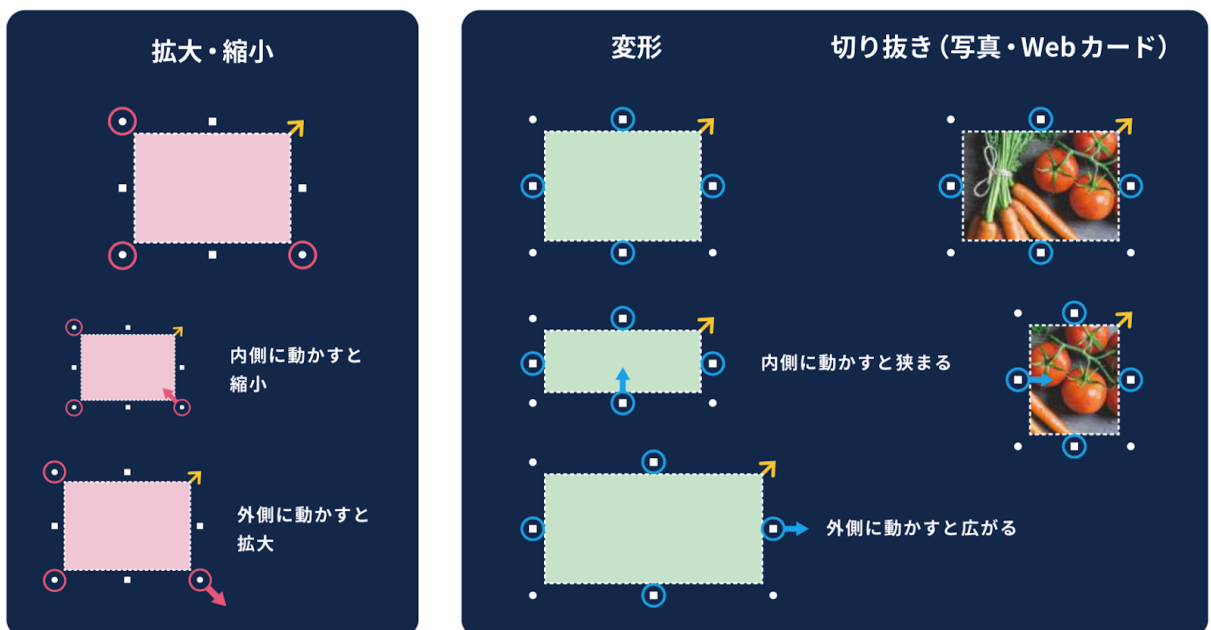
編集画面の左上にある「+」マークからカードを追加することができます。

追加するカードを選択し（左画像）、カードの追加先（右画像）を選択します。



c. カードをトリミングする

カードを長押しすると、周囲にハンドルが表示され、カードのサイズ・形を変えることができます。画像や動画、Webカードの場合は見せたい部分だけにできます。



さまざまなカード（データ）をつくる

次の実践動画を提示し、授業での利用イメージをふくらませます。

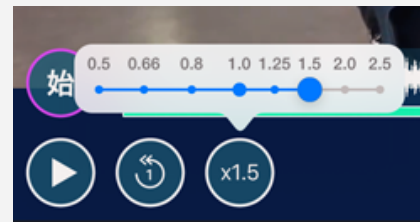
- 活用動画 2：英語学習で大活躍 スピーキングテストを期末考査で
<https://youtu.be/49aBjNCoyKU?t=285>
- 活用動画 3：思考ツール 深い学びを実現する。デジタルシンキングツール
<https://youtu.be/lyaoRjyZqSk>

a. 音声カード（録音）

カードに音声を録音することができます。
「録音ボタン」をおすことで録音できます。



- 動画や音声ファイルを再生しながら録音でき、手本音声などを聞きながら録音できます。
- 録音時間や音量の設定、再生スピードの変更も可能です。

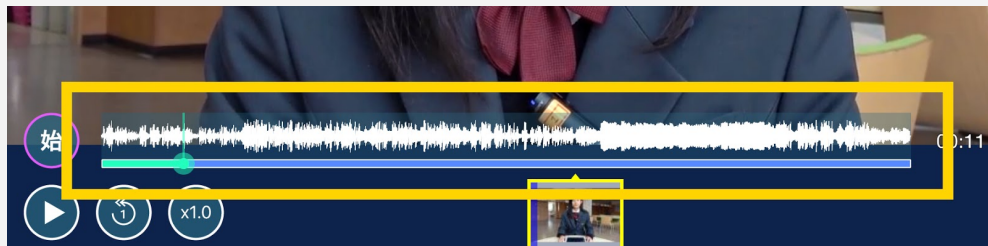


b. 動画カード

カメラボタンからビデオを選択すると、動画が撮影できます。
画面右下の「使用する」をおすと、
動画カードになり動画の編集ができます。
撮影・編集した動画を動画ファイルとして書き出すこともできます。



- 動画カード・音声カードでは、音声が波形で表示されます。
- リスニングやスピーキングなどの場面で活用できます。

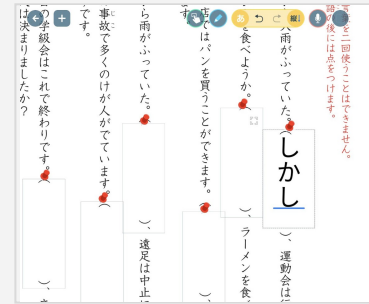


c. PDFファイル

「ファイル」ボタンからPDFファイルを取り込みます。
他のカードと同様に、PDFの上に手書きやカード追加で書き込みができます。



- 問題が書かれたPDFの上に白紙のカードを追加し、ピン留めすると解答欄が作れます。
- パソコンからPDFファイルを取り込む流れを実演してください。



d. Webカード

Webページをカードにすることができます。



1. WebカードをおしてWebカードを出す。
2. 右上のカメラボタンをおすと、閲覧しているWebページをロイロノート・スクールのカードにできる。
3. カードにしたWebページは、カード上の虫眼鏡ボタンをおすことで、そのWebページにジャンプできる。



完了 引用したいページが見つかったら、その部分を目立つように拡大し、**[完了]**をタップします。

現在のページをカードに残し、連続してカードを作成することができます。

引用されたカードの編集ツールから、再度**[Web検索ツール]**を選択すると、引用したWebページを閲覧することができます。

- 教員がWebページの閲覧設定をすることができます。
※ [Webフィルタについて](#)
- Web版をご利用の場合は[Webカード拡張機能](#)をご活用下さい。
- 研修で使用した実践動画を送り、参加者の手元で実際にWebページが開くことを確認してもよいでしょう。

e. シンキングツール

シンキングツールを使うと考えを可視化したり、新しい考えをつくり出したりできます。

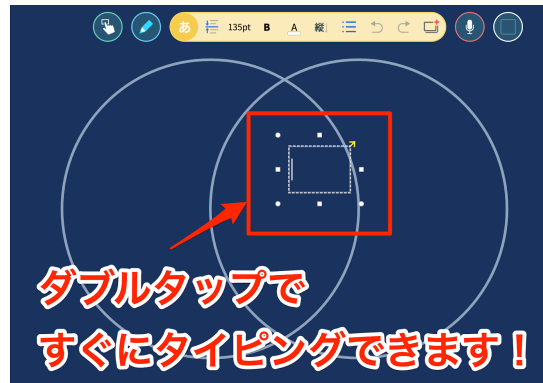
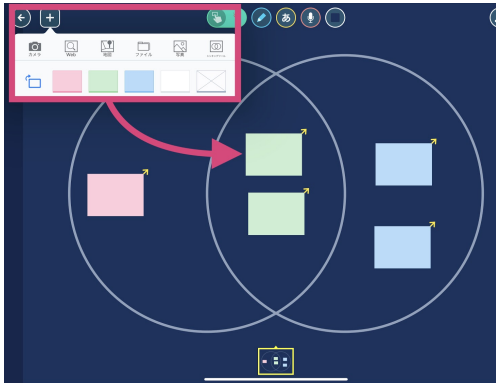


シンキングツール

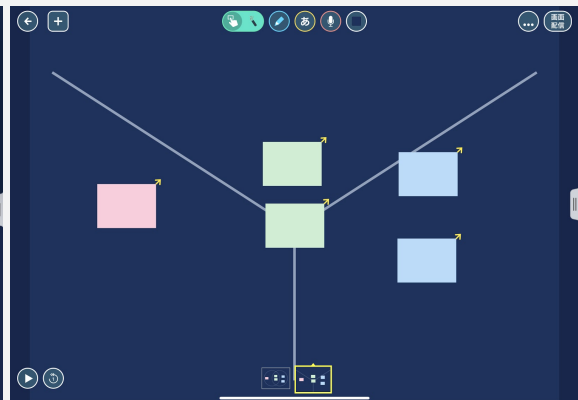
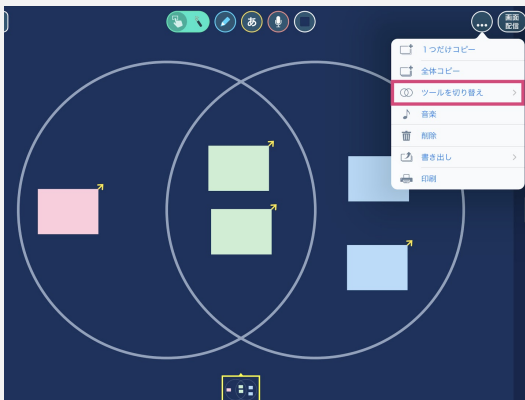
シンキングツールの画面左上「+」からカードを追加できます。

追加するカードからテキストカードを選択すると、シンキングツール画面上にカードを追加することができます。同様に、シンキングツールも追加できます。

ダブルタップすると透明なカードを出してすぐにタイピングできます。



画面右上「...」から「カードを切り替え」をおすと、背景のシンキングツールだけを変えることができます。



シンキングツールについては以下のページをご参考ください。

- シンキングツールを学ぶ：<https://n.loilo.tv/ja/thinkingtool>
- シンキングツール 授業案サイト <https://scrapbox.io/ttld/>

4. テストカード

自動採点ができるテスト、自動集計できるアンケートが簡単に作成できます。

結果を生徒に共有することもできます。

小テストや生徒同士の問題の出し合いの場面で活用できます。

※ テストカードと アンケートカードの基本操作は同じです。

アンケートカードには、自動採点機能はありません。



テストカードの使い方については、以下をご参考ください。

- (動画) <https://youtu.be/RGlioSdzk0>
- (サポートページ) [テストカードを使ってみよう](#)

1. テストカードに回答する

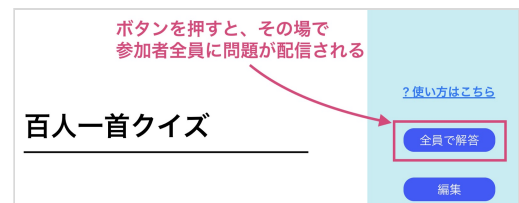
テストカードを作成する (研修担当)

事前に研修用の簡単なテスト問題を作成しておきます。

テストカードを配信する (研修担当)

テストカードを開き「全員で解答」をおします。
参加者全員の画面に問題が表示されます。

「全員で解答」ボタンは教員のみ使用できます。



テストカードに回答する

1. 参加者は表示された問題に回答する
2. 「答えあわせする」ボタンをおす
※ アンケートの場合は「回答を送信する」ボタン



結果を確認・共有する

結果は、棒グラフ (チャート) あるいは、表 (テーブル) で表示されます。

リアルタイムで集計結果を表示できます。

1. 「答えあわせする」「回答結果を共有」にチェックを入れる (研修担当)
2. 参加者がお互いの回答や正答率を確認する

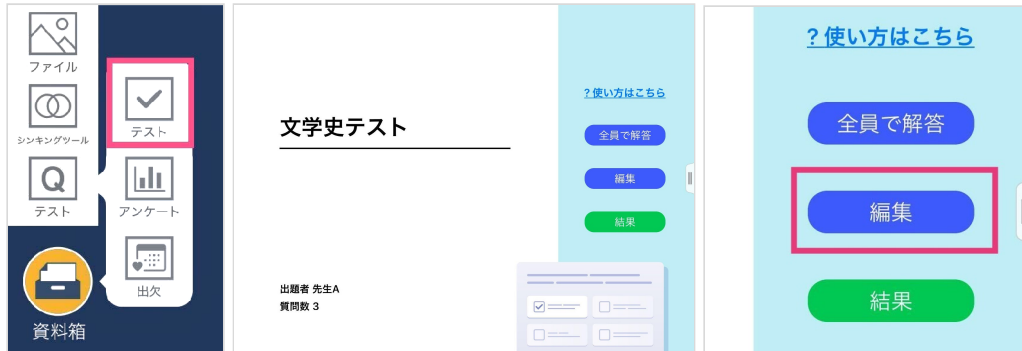


名前	正答率	次の数字を表す英語を選びましょう。『13』	
		正誤	正誤
清田 健太	25	×	two hundred and four-eight yen
藤本 花一	50	✓	two hundred forty-eight yen
ジョン レノン	50	✓	two-four-eight yen
早川 泰之	25	×	two hundred forty-eight yen
大塚 竜太	25	✓	two-four-eight yen
山田 美咲子	25	✓	two thousand and four-eight yen
生田	25	✓	twenty-four eight yen

2. テストカードを作成する

テストカードは先生、生徒どちらも作成できます。

1. 「テスト」 ボタンからテストカードを選択する
2. 「編集」 ボタンをおす



問題を編集する

編集画面：問題を作成・編集する

プレビュー：作成した問題が回答者の画面でどのように表示されるのかを確認する

集計結果：回答内容がリアルタイムで表示される



作成した問題は自動で保存されます。

画面右下に黄緑のチェックが表示されたら保存完了です。

3. テストカードを解き合う

作成したテストカードを生徒が互いに回答し合うことができます。

1. 参加者が各自で作成したテストカードを提出箱に提出する
2. 提出箱の回答共有をONにする (研修担当)
3. 参加者が提出箱から解きたい問題を選択する
4. 「Qボタン」をおして、回答をはじめ

17:15 11月5日(木) 67%

戻る 【歴史】自主学習 締切 画面配信

提出順 回答共有中 一括返却 比較

浦田 敏也	橋本 祐一	平川 奈々	生徒A
中世ヨーロッパ クイズ	【歴史】航海時代クイズ	ルネサンス quiz	室町時代
11月5日 16:09	11月5日 16:12	11月5日 16:15	11月5日 17:10

このテストカードに回答する

【歴史】航海時代クイズ

返却 生徒発表 画面配信

テストカード/アンケートカードも他のカード同様、「送る」を使って、送りたい相手にテストカードを送ることができます。

事例紹介：生徒が問題作成をして相互学習
生徒が作った問題に答え合うことで相互学習をおこないます

(サポートページ) [テストカードで問題作成、互いに解き合う](#)

グループワークを行う

生徒アカウントからログアウトする

1. 画面右上の名前の部分をタップし、「ログアウト」を選択します。
2. 「ログアウトしてもよろしいですか？」の画面で「ログアウト」を選択します。
3. ログイン画面に戻ります。



教員アカウントでログインする

ログイン方法を選択し、ログインします。

a. ロイロノートでログイン

学校ID、ユーザーID、パスワードを入力して、ログインします。

b. Googleでログイン

Googleアカウントがある場合、名簿登録を行うと学校ID、ユーザーID、パスワードを入力せずにログインすることができます。

c. Microsoftでログイン

Microsoftアカウントがある場合、名簿登録を行うと学校ID、ユーザーID、パスワードを入力せずにログインすることができます。



「Googleでログイン」「Microsoftでログイン」を有効にするためには、管理者が管理画面でGoogle / Microsoft のアカウントで名簿登録をする (SSO) を行う必要があります。

(サポートページ) [Google / Microsoft のアカウントで名簿登録をする \(SSO\)](#)

模擬授業用の授業を作成する

1. 「授業の追加」を選択します（左画像）
2. 授業を行うクラスを選択する
ここでは「研修年1組」を選択します（中央画像）。
3. 授業名「模擬授業+苗字」で作成する（右画像）
例：模擬授業 吉川
4. 「追加する」をおすと、授業一覧に追加されます。



授業の追加ができれば、授業一覧に表示されます。



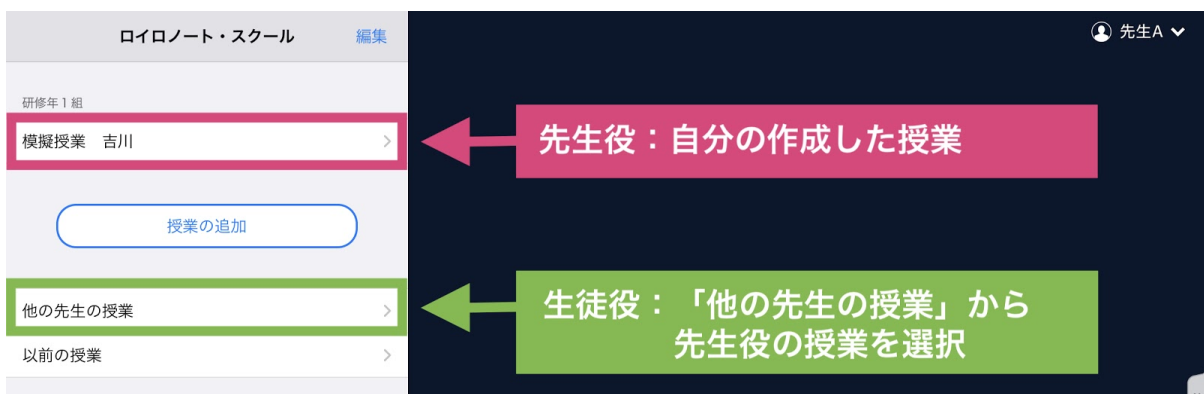
授業を選択し、ノートを作成する

模擬授業を行うための準備を行います。2人1組をつくり、先生役と生徒役に分かれま
す。

先生役と生徒役が同じ授業に入ります。それぞれ授業を選択したらノートを作成する。

先生役：1. で作成した自分の授業「模擬授業+名前」を選択します。

生徒役：授業一覧の「他の先生の授業」を選択します。



ログアウト/ログインの練習をかねて、生徒役参加者は再度ログアウトし、基本操作研修で利用していた生徒アカウントでログインし直すよう伝えましょう。

カードのやりとりを行う

先生役、生徒役に分かれ、授業でよく使われる機能を実際に操作します。
一通り次のa.～c.を行ったら、役を交代して体験します。

a. 参加者確認（先生役）

先生役は、生徒役が同じ授業に入っているか確認します。画面右端にあるタブから管理者ツールを引き出し、「参加者確認」とおします。生徒役の名前が表示されていることを確認します。



b. 写真を撮って画面配信（先生役）

c. 課題のやりとり

- テキストカードで課題を作成します（先生役）
- 課題を送信します（先生役）
- 提出箱を作ります（先生役）
- 課題に回答する（生徒役）
- 課題を提出箱に入れる（生徒役）
- 提出物を確認し、添削・返却する（先生役）

サポート/オンラインセミナー

使い方に困ったら

ロイロノート・スクールの使い方でわからないことがあれば、まずは弊社のサポートページをご覧ください。

画面右上にある自分の名前をおして、「サポート」を選択してください。
サポートポータル Web ページが開きます。



<https://help.loilonote.app/>



初心者向けセミナー「はじめてのロイロノート」LoiLo主催

初めてロイロノート・スクールをご利用になる方に向けた初心者向けセミナーを定期的に開催しています。オンラインセミナーです。

参加費は無料です。お気軽にご参加ください。

[詳細・お申し込みはこちら](#)



授業案を検索する

全国の学校から寄せられた豊富な授業案をご覧ください。
気になるキーワードを入力して、他の先生の授業案を見てみましょう。

[授業案](#)



ロイロ認定ティーチャー

ICTを効果的に活用し、生徒主体の授業をデザイン/実施できる教員
(ロイロ認定ティーチャー) を募集しています。

[詳細はこちら](#)

